

皆さん こんにちは

先日、『がん教室などの一般向けの講演会などを再開してくれないか?』という皆様からの要望を耳にすることがありました。

講演を企画している側にとって大変ありがたいお話でうれしく思っております。

講演会となると屋内開催になりますので、よく話題にあがっております『3密』の部分をいかにクリアするかということが課題になります。

前提として、開催を準備するには、諏訪赤十字病院としての考え、場合によっては日本赤十字社全体としての意向なども踏まえてそれに逸脱することなく進めていく必要があります。これまでにない形を探るとすると、インターネット上に動画での短時間の講演を流すということも代替え案としてあるかもしれません。

しかし、音楽などのライブと同じように、講演会も会場で聴くのと会場外で録音されたものを聴くのとでは少し趣が違うと思います。

その意味で、なんとか会場の工夫で実施できるようになればいいとは考えております。

がん教室を例にとりますと、ご熱心な方々からの質疑応答も魅力の一つではないかと思えます。

一方でマイクを回しての対応を要しますので、カラオケでのマイクを介したコロナ感染リスクなどを考えると、そのような今までと同じやり方ができなくなることも想定されます。当院で最も広い講演会会場はこれまで開催してきた研修センターになりますので、個々の席をあけての対応をすると、来ていただける人数を限定することになります。

せっかく楽しみに来ていただいた方をお断りするケースがでるとするとそれも悲しいことと思えます。

ここにあげた以外にもいくつかのハードルがあり、『がん』領域に限らず各部署で同様の開催についての要望はきているようで、試行錯誤しながら準備をしていく形になると思えます。

何より私どもが開催する講演会等が、新型コロナの感染を広げる場になることはなんとしても避けなければならないことでこの懸念をある程度払拭できる形で再スタートしたいと個人的には考えております。